

I 教育目標	
◎よく考える子（重点目標） ○思いやりのある子 ○体をきたえる子	
II 経営方針	
目指す学校像	～ 子供の笑顔が あふれる学校～ ○【子ども】一人一人の個性を発揮できる学校「通ってよかった！」 ○【保護者・地域】地域から信頼され、愛される学校「通わせてよかった！」 ○【教職員】互いの良さを生かし、協力する教職員の学校「勤めてよかった！」
目指す児童像	◎自ら考え、主体的に判断し、行動する児童（今年度重点） ○互いの個性を認め合い、自分も友達も大切にする、思いやりのある児童 ○心身ともに健康でたくましく、明るく活発に、体をきたえる児童
目指す教師像	○子供に寄り添い、子供の成長を心から喜べる教師 ○教育に対して情熱をもち、謙虚な姿勢で、常に学び続ける教師 ○「チーム新田」の一員として、互いに同僚性を高め合える教師
経営理念	子供たちを取り巻く環境が大きく変化する中、小学校では、これからの社会を担う全ての子供たちの真の「生きる力」を育むことが求められている。そのためには、子供たちが将来への希望をもって自ら伸び、育つ教育を行う必要がある。そこで、子供たちを支える教職員の力を高め一丸となって、「自らの個性や能力を伸ばし、様々な困難を乗り越え、人生を切り拓いていくことができる。」「他社への共感や思いやりをもつとともに、自己を確立し、多様な人々が共に生きる社会の実現に寄与する。」子供を育てていく。 今年度は、「学力向上」に向けて、子供たちの力を信じ、子供たちが学ぶ意欲をもてるように、学ぶ楽しさを感じられるように、教師が情熱をもってあきらめず、様々な視点から考えた個に合わせた創意工夫を行っていく。

III 経営目標	
重点領域1	学力向上の推進
中期経営目標	学力向上に向けて、3つの視点（基礎・基本の定着、授業力向上、主体的な子供の育成）から改善を行い、子供の学習意欲向上を図る。
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の学習、学力テスト等から、子供の実態把握を行い、新田小学校の子供が身に付けるべき力に焦点を当てた指導を行うことで学力向上を図る。 ・国語の「読むこと（説明文）」領域について、全教職員が「子供が主体的に取り組む」授業改善に取り組み、新田型授業スタイルを身に付ける。（校内研究と連携） ・5年生の算数において、授業改善に取り組み、A層の割合向上を図る。 ・日常の授業、パワーアップタイム、補習（EDOスク含む）、家庭学習等を通して、個別最適な課題に取り組み、基礎・基本の定着を図る。 ・ポートフォリオを活用した学習、読書科による探究的な学習の推進を図り、子供が達成感を味わうことができるようにする。

項目	努力指数（教師側）	成果指標（子供、保護者側）
1	<ul style="list-style-type: none"> 子供の実態把握に向け、年度初めに学校全体で研修会を実施する。学期ごとに振り返りと改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート項目「勉強が分かる、授業が分かる」で、肯定的に回答する子供の割合を80%以上にする。
2	<ul style="list-style-type: none"> 国語の授業改善に向け、研修会（4月）、授業観察（1，2学期各1回）、研究授業（2学期3回）、研究発表を実施する。 算数の授業改善に向け、5年生で江戸川区の学力向上事業に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート項目「文章の内容を理解するのが得意」で、肯定的に回答する子供の割合を70%以上にする。 3学期に実施する5年生の学習カルテにおいて、A層の割合を5%向上させる。
3	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本の確立に向け、週2回のパワーアップタイムの実施、家庭学習の改善、補習の充実等の日常的な取り組みを実施する。個別最適な学びとなるよう工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート項目「パワーアップタイムは自分の役に立っている」で、肯定的に回答する子供の割合を80%以上にする。 アンケート項目「家庭学習に意欲的に取り組むことができている」で、肯定的に回答する子供の割合を1学期から10%以上向上させる。
4	<ul style="list-style-type: none"> ポートフォリオを活用した授業を実施し、同時に保護者との連携も図ることで、児童の成長を実感させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケート項目「ポートフォリオを活用する（タブレットで映像を見比べる）ことで、子供の成長を感じることができた」で、肯定的に回答する保護者の割合を80%以上にする。

重点領域2		心の教育の推進
中期経営目標	様々な取り組みを通して、共生社会の実現に向けた心の育成を図る。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> 異学年交流、通常・うみかぜ学級の交流及び共同学習を通して、思いやりの心を育てる教育を推進する。 道徳授業の推進、規範意識の向上、家庭・地域との連携により、いじめの未然防止・早期発見・早期解決と不登校対応の充実を図る。 日常生活、地域清掃、体験活動、良さを認める活動を通して、ほめることを意識的に行い、子供の自己肯定感や自尊感情を高める。 「全教職員で全児童を見守る」という意識のもと、L-Gateの活用、定期的な情報交換、研修の実施により、児童理解と個への対応の充実を図る。 	
項目	努力指数（教師側）	成果指標（子供、保護者側）
1	<ul style="list-style-type: none"> 異学年交流、通常・うみかぜ学級の交流を積極的に実施して、友達の個性を認め合える子供を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート項目「他の学級の友達のよいところを見付けられた」で、肯定的に回答する子供の割合を90%以上にする。

2	<ul style="list-style-type: none"> 道徳授業の推進、規範意識の向上、家庭・地域との連携により、いじめはいけない、いじめをゆるさないという気持ちを育てる。様々な機関と連携して不登校対策を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート項目の「いじめは絶対にいけない」で、肯定的に回答する子供の割合を100%にする。不登校児童がいた場合、全ての児童がどこかの機関に関わることができるようにする。
3	<ul style="list-style-type: none"> 地域清掃、体験活動、子供による良さを認める活動を行うとともに、教員が子供の良さを積極的に見つけ、伝えることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート項目「友達や先生、家の人からたくさんほめてもらった」で、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
4	<ul style="list-style-type: none"> L-Gate の活用、定期的な情報交換、研修の実施により、児童理解と対応に努め、一人一人が安心できる居場所のある学級づくりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート項目「学校が楽しい」で、肯定的に回答する子供の割合を90%以上にする。

重点領域3		体力の向上及び健康の保持・増進の推進
中期経営目標	体力を高める取組や授業の充実をとおして、健康でたくましい子供を育成する。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> なわ跳びチャレンジウィーク、新田プレイタイム、持久走記録会の取組を通して、体を動かすことが好きな子供を増やす。 体力テスト等の結果を分析することで、子供たちに必要な運動を取り入れた活動を行い、体力の向上を図る。 個に応じた達成目標のある授業や運動量が確保された授業の実施により、運動が好きな子供を増やすとともに体力の向上を図る。 安全・健康教育の改善・充実を図り、自らの健康の保持増進に努める子供を育成する。 	
項目	努力指数（教師側）	成果指標（子供、保護者側）
1	<ul style="list-style-type: none"> なわ跳びチャレンジウィーク、新田プレイタイム、持久走記録会等の取組を通して、すすんで運動する子供を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活アンケート項目「休み時間に外で遊ぶのが好き」で肯定的に回答する子供の割合を80%以上にする。
2	<ul style="list-style-type: none"> 体力テストの結果をもとに、新田小での課題となる運動に取り組み、体力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題となる運動について、昨年度の体力テストの数値を全体で5ポイント上げる。
3	<ul style="list-style-type: none"> 個に応じた達成目標のある授業、運動量が確保された授業を実施するとともに、体育の授業における達成感を味わわせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活アンケート項目「体育の授業で、できるようになったことがある。」で肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
4	<ul style="list-style-type: none"> 歯磨き指導、安全指導、早寝・早起き・朝ごはん、アトリエ等の活動を通して、自分自身の心身の健康や成長への関心を高める子供を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活アンケート項目の安全の大切さや自分の健康についてで、肯定的に回答する子供の割合を80%以上にする。

重点領域4		特別支援教育と特色のある教育の推進
中期経営目標	新田小学校の特色を生かした教育活動の推進を図る。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・うみかぜ学級と通常学級の交流及び共同学習を通して、互いの良さを認め合える子供を育成する。 ・支援を要する子供に対して、学校全体で組織的に対応する。 ・各学年が実態に応じた Shin Den Goals に取り組むことで、子供たちがともに生きる町づくりの思いに触れ、SDGs に取り組もうという気持ち育む。 	
項目	努力指数（教師側）	成果指標（子供、保護者側）
1	<ul style="list-style-type: none"> ・うみかぜ学級と通常学級の交流及び共同学習を通して、良さを認め合うことができるよう教師が率先して関わり、褒めるようにする。 ・理解教育を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理解教育を1年生と5年生で実施する。 ・「交流学习がたのしい」と感じる子供を80%以上にする。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に支援委員会を実施し、SCやSSWと連携することで組織的な支援を行う。 ・特別支援教室、SCやSSW等の保護者に対する理解啓発を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケート「学校はSCやSSWと連携して教育活動にとりくんでいる」で、肯定的に回答する保護者の割合を70%以上にする。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階に応じた教育活動 Shin Den Goals を実施し、子供たちのSDGsへの関心を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活アンケート項目「SDGsは大切だと思いますか」で、肯定的に回答する子供の割合を90%以上にする。

重点領域5		「チーム新田」の組織の活性化
中期経営目標	保護者、地域との連携や教員同士の同僚性を高め、チーム新田を強力なものにする。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・児童、保護者、地域の声を受け止め、教育活動に生かしていく。 ・日々の教育活動はもとより、校内研究、OJT、教育課題推進（学力向上）を通して教職員の同僚性を高め、助け合える学校を築く。 ・職務の効率化や取捨選択を行うことで、働き方改革の推進を図る。 	
項目	努力指数（教師側）	成果指標（子ども、保護者側、その他）
1	<ul style="list-style-type: none"> ・児童、保護者アンケートの実施 ・学校関係者評価の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケート「学校は保護者・地域の意見や要望を受け止め、教育活動をすすめている」で、肯定的に回答する保護者の割合を80%以上にする。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体で日頃から話をしやすい雰囲気づくりを行う。週1回の会議時間を設定し、話し合うことで共通理解のもと指導にあたる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい職場だと感じる教職員が80%以上にする。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・公務分掌や年間行事変更、交換授業の実施等により、教職員の負担感の減少を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度よりも働き方改革がすすんだと感じる教職員が80%以上にする。